

決算審査報告書

1 審査事件

令和3年度日野町歳入歳出決算認定について

2 審査対象

- (1) 令和3年度日野町一般会計歳入歳出決算
- (2) 令和3年度日野町国民健康保険特別会計歳入歳出決算
- (3) 令和3年度日野町介護保険特別会計歳入歳出決算
- (4) 令和3年度日野町後期高齢者医療保険特別会計歳入歳出決算
- (5) 令和3年度日野町簡易水道特別会計歳入歳出決算
- (6) 令和3年度日野町公共下水道事業特別会計歳入歳出決算
- (7) 令和3年度日野町農業集落排水事業特別会計歳入歳出決算

3 委員会の開催状況

令和4年9月5日、7日、13日、14日、20日、22日の6日間

4 審査結果

(1) 結果

賛成多数で認定すべきものと決定した。

(2) 理由

一般会計及び6特別会計の決算について、提出された関係書類を基に審査を実施した。審査にあたっては、担当課からの聞き取り、また、必要に応じて資料の提出も求め審査した。その結果、一般会計決算書、特別会計決算書、実質収支に関する調書及び財産に関する調書の計数は正確であり、予算執行も適正に行われているものと認められた。

5 会計ごとの所見

(1) 一般会計

決算では、翌年度へ繰越すべき財源 4,920,000 円を除いた実質収支が、117,882,479 円の黒字となっている。

① 歳入に関する事項

調定額4,469,745,017円に対し、収入済額4,391,293,981円で収納率は98.24%で、前年度と比較して0.52%上回っている。

収入未済額は78,437,036円で、前年度と比較して18,960,580円減少しているが、減少の大きな理由として、法人町民税・固定資産税のコロナ特例の徴収猶予額が納付されたことが挙げられる。

未納額の内訳を見ると、町税が13,033,860円、住宅使用料2,933,793円、住宅新築資金等貸付金50,546,933円、災害援護資金貸付金11,922,450円などとなっている。

未納額の大半を占める、住宅新築資金等貸付金、災害援護資金貸付金の未納額は前年度より減少しているものの、依然として多額である。また、生活保護費返還金14,000円が不納欠損処分されている。

町税では、個人町民税・固定資産税において、前年度より滞納者が減少し徴収率も上がっている。

今後も町長以下職員が一丸となって、未納者個々の実態把握と新たな未納者の抑制など、細心の対策を講じながら未納額の徴収に努められたい。

② 歳出に関する事項

歳出では、事業の執行状況、効果等について審査を実施した。

主な事業としては、防災行政無線デジタル化事業、生活交通確保対策事業、コロナワクチン接種事業、根雨地区浸水対策事業、地籍調査事業、日野町くらし応援商品券事業、日野病院組合他一部事務組合負担金、起債償還、基金積立などが挙げられる。

また、義務教育学校建設事業、橋梁修繕事業など13事業が3年度から4年度に繰越されている。

決算では、予算現額5,718,497,000円に対し、支出済額は4,268,491,502円、翌年度繰越額1,180,632,000円で、翌年度繰越額を予算現額から除いた執行率は94.06%であった。

不用額は269,373,498円と本年度決算においても多額であり、当初予算を編成する際にあたっては、引き続き予算の査定段階から十分精査をされたい。

また、事業を予算化する際には、財源の確保を図るとともに、執行にあたっては最小の経費で最大の効果が得られるようさらに工夫されたい。

③ 財産に関する事項

財産に関する調書及び定額運用基金の運用状況についても正確と認められる。

財政調整基金、公共施設等長寿命化基金をはじめとする基金総額は年々増加しており評価できる。

なお、地域福祉基金、地域振興基金、建設機械整備基金などは近年活用実績もなく積み立てもされていない、運用について検討されたい。

(2) 特別会計

① 国民健康保険特別会計

決算での実質収支は、7,312,458円である。

歳入の状況は、調定額431,302,110円に対し、収入済額は410,150,636円、収入未済額は21,151,474円、**収納率**は95.10%となっている。国民健康保険税については、新規滞納者も

出ており、収入未済額も多額であるので徴収についてさらなる努力をされたい。

歳出の状況は、支出済額 402,838,178 円、不用額 26,195,822 円で、執行率は 93.89%となっている。

今後も健康管理に対する意識の高揚と検診受診の普及を図られたい。また、国民健康保険財政調整基金の現在高は、年々増加しているのので、基金残高にも注視されたい。

② 介護保険特別会計

決算での実質収支は、38,785,503 円となっている。

歳入の状況は、調定額 644,979,313 円に対し、収入済額も同額で、**収納率** 100%と評価できる。

歳出の状況は、支出済額 606,193,810 円、不用額 49,839,190 円で、執行率は 92.40%となっている。

引き続き、いきいき百歳体操など介護予防の取り組みを推進するとともに給付費の抑制を図られたい。また、介護給付費準備基金の現在高は、年々増加している。次期介護保険料の改定に向けて考慮されたい。

③ 後期高齢者医療保険特別会計

決算での実質収支は、115,500 円である。

歳入の状況は、調定額 52,593,492 円に対し、収入済額も同額で、**収納率** 100%と評価できる。

歳出の状況は、支出済額 52,477,992 円、不用額 3,283,008 円で、執行率 94.11%となっている。引き続き適正な事務処理に努められたい。

④ 簡易水道特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は 0 円である。

歳入の状況は、調定額 108,272,848 円、収入済額 107,839,868 円、**収納率** 99.60%となっている。収入未済額は 432,980 円と昨年より増加しているのので徴収に努められたい。

歳出の状況は、支出済額 107,839,868 円、不用額 12,432,132 円で、執行率 89.66%となっている。

今後も生活の向上を図るため、適正な維持管理に努められたい。

⑤ 公共下水道事業特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は 0 円である。

歳入の状況は、調定額 87,228,440 円、収入済額 87,099,310 円、**収納率** 99.85%となっている。収入未済額は、129,130 円と昨年よりわずかではあるが増加しているのので徴収に努められたい。

歳出の状況は、支出済額 87,099,310 円、不用額 4,525,690 円で、執行率 95.06%となつて

いる。

今後も生活の向上を図るため、加入促進と適正な維持管理に努められたい。

⑥ 農業集落排水事業特別会計

決算の状況は、必要額を一般会計から繰り入れしているため、実質収支は0円である。

歳入の状況は、調定額 41,648,961 円、収入済額 41,599,101 円、収納率 99.88%となっている。収入未済額は 49,860 円と昨年度より若干ではあるが減少しており、引き続き徴収に努められたい。

歳出の状況は、支出済額 41,599,101 円、不用額 847,899 円で、執行率 98.00%となっている。

今後も町民生活の向上を図るため、適正な維持管理に努められたい。

6 地方公共団体の財政の健全化に関する法律第3条第1項の規定による財政健全化判断比率について

4指標の内、実質赤字比率、連結実質赤字比率は、いずれの会計も実質収支が黒字となっているため問題はなく、将来負担比率は、基金の積み立ての増加などにより、マイナス数値となっており問題はない。

実質公債費比率についても、早期健全化基準の25.0%を下回る6.0%であり、年々健全化に推移している。

しかし、地方交付税に依存している本町は、国内情勢により大きく左右されるため、より一層の創意工夫と危機感をもって予算執行にあたられたい。

また、過疎債を中心とした起債の借入が年々増加している。実質公債費比率等にも影響してくるので、借入については十分検討されたい。

本委員会において、上記のとおり決定したので報告します。

令和4年9月27日

決算審査特別委員会

委員長 中原 信 男

日野町議会議長 小 谷 博 徳 様